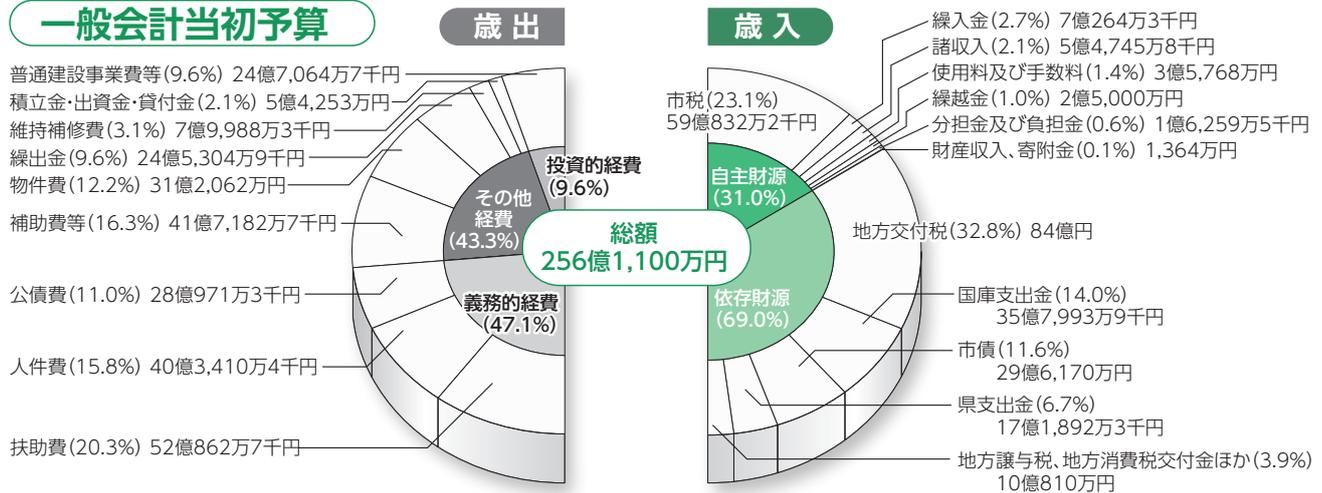


一般会計当初予算



歳出予算の特徴

人件費は、定員適正化計画に基づく職員数の減等により、前年度より2億1,352万3千円減少しています。

扶助費は、生活保護費、法人保育所等運営費負担金の減等により、前年度より1億4,279万4千円減少しています。

維持補修費は、除排雪対策費の増により、前年度より2億9,692万9千円増加しています。

補助費等は、消防救急デジタル無線設備整備事業に対する能代山本広域市町村圏組合への負担金や臨時福祉給付金給付事業費などの増により、6億4,795万2千円増加しています。

歳入予算の特徴

市税は、全体で前年度より20万円の増加で、ほぼ前年度並となっています。

地方交付税は、国の地方財政計画で減額になっているものの、公債費に対する交付税の増等により、前年度より2億円増加しています。

繰入金は、財政調整基金繰入金、庁舎建設基金繰入金などの増により、前年度より3億4,781万5千円増加しています。

市債は、消防施設整備事業(負担金)債、中川原地区整備事業債、庁舎整備事業債などの増により、1億1,700万円増加しています。

市民1人あたりの予算の使い道は

使 い 道	予 算 額	市民1人あたり	使 い 道 の 内 容
議 会 費	2億5,053万円	4,332円	市議会の運営に
総 務 費	26億1,442万3千円	45,208円	まちの行事や防災、市役所や出張所の管理などに
民 生 費	93億9,060万3千円	162,380円	高齢者や障がい者、小さな子どもたちなどのために
衛 生 費	19億1,441万6千円	33,104円	ごみの収集運搬、健康診査や予防接種などに
農林水産業費	7億2,311万2千円	12,504円	農業や林業の振興などのために
商 工 費	11億7,231万1千円	20,271円	中小企業の振興や工業振興、観光振興などのために
土 木 費	31億5,884万円	54,622円	道路や下水道の整備などに
消 防 費	14億9,885万2千円	25,918円	消防活動や救急業務などに
教 育 費	20億3,064万3千円	35,113円	学校や幼稚園などの教育関係に
公 債 費	28億971万3千円	48,585円	市の借入金返済に
そ の 他	4,755万7千円	822円	災害など緊急時の予備などに
合 計	256億1,100万円	442,859円	

※市民1人あたりの額は、予算額を平成26年2月末日の人口(57,831人)で割り返したものです。

市民1人あたりの予算の使い道

